

11/ 冬の事故と犯罪と防ぐために

11 冬の防犯交通安全運動出動式

冬の全国交通安全運動（13日から22日）を前に、観光情報プラザ駐車場で、防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）「夜高パトロール隊」による、冬の地域安全防犯交通安全運動出動式が行われました。

出動式には、坂本久和交通安全協会長、宮脇英樹自治振興協議会長のほか、深川警察署、沼田地区安全協会会員など16名が出席され、挨拶で宮脇自治振興協議会会長から「日頃の活動、深く感謝致します。今後も安心して住みよい町づくりのためにご努力をお願いします。」と述べられ、その後パトロール隊員はそれぞれ町内パトロールに出動しました。



11/ 育児について学びました

13 子育て講習会を開催しました

健康福祉総合センター「ふれあい」で、沼田町ファミリーサポート援助会員養成講座「子育て講習会」が開催されました。

これは、ファミリーサポートセンター援助会員のフォローアップ研修と、小さなお子様をお持ちの保護者が、子育ての上で悩んでいる事などに生かして頂くために開かれたものです。

講師には、複数の大学で臨床発達心理の講師をされている中山美智子氏をお招きし「乳幼児の心の発達と大人のかかわり」と題しての講演を頂きました。

参加された方々は「先生のお話から、日頃の悩みを解決するヒントを頂くことができ、本当に有意義な講習でした」と話していました。



11/ いろいろ体験できました

14 町民交流フェスタ

生涯学習総合センター「ゆめっくる」で、「町民交流フェスタ」（同実行委員会主催）が開催され約150名が来場されました。

プラモデルの展示や作成教室、警察の鑑識体験等、普段体験できないもののほか、沼田町ならではの化石発掘体験も行われ、子供たちは各体験コーナーを次々と回っていました。

子ども人形劇では、マリオネットの劇が披露され子供たちから歓声が沸き、同伴している保護者も童心に戻り楽しんでいました。



11/15 降雪期に備えて 除雪マナー講習会

町内で除排雪作業を行っている事業者を対象に、除雪マナー講習会を開催しました。

講習会では、役場担当職員より、町民から寄せられている声について報告し、また町内に数か所ある排雪用雪捨て場の位置やルールなどを説明しました。

参加した事業者は、資料を見ながら冬期間除雪のマナーをあらためて確認していました。



11/19 長年のご尽力に感謝を込めて 沼田町商工優良従業員表彰式

まちなかほっとタウンで沼田町商工会（吉住淳男会長）主催の優良従業員表彰式が行われ、4事業所から7名の方が表彰されました。

吉住会長は「働いて下さっている思いと、働く場を頂いている思いを互いに忘れずに、これからもご健勝でご尽力頂きますようお願いしたい」と挨拶され、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

その後、特に模範的な従業員として株式会社沼田開発公社に勤務している坂上博さんに横山町長より、沼田町長表彰が贈られました。

最後に受章者を代表し坂上さんが「今回の受賞は、自分にとって身に余る光栄であり、今後は会社の発展ひいては沼田町のために努力する所存です。」と謝辞が述べられました。



11/20 命を救うことを学ぶ 救命講習会が開催されました

健康福祉総合センター「ふれあい」で、救命講習会が行われ、参加者は約1時間、消防署員から、心停止の状態から心肺蘇生のための心臓マッサージとAEDの使い方を学びました。

消防署員からは「倒れている人を見つけたら、自分がまず声を掛ける。という勇気をもって下さい。」と心構えを話し、参加された方は「消防が到着するまでの間、心臓マッサージを続けることが人命につながるということがよく分かりました。」と感想を話していました。



11/21 **ゲームでまちづくりが見える** SDGs × 鉄道ワークショップ

沼田 de ポドゲ会主催のゲームで学ぶ「SDGs × 鉄道」ワークショップ@沼田町が、生涯学習総合センター「ゆめっくる」で開かれました。

これは、SDGs（持続可能な開発目標）とまちづくりについて、カードゲームをやりながら学ぶもので、参加者19名は、配られたカードを使い様々な政策を打ち出しながら、2030年の沼田町を作りあげました。

その後、物ごとを関連付ける力などを身につけるゲームで、沼田の魅力と鉄道を結び付けた事業やアイデアを各グループごとに企画し発表を行いました。



11/23 **多くの鉄道ファンで賑わいました** 留萌本線開業 111 周年記念イベント

11月23日（祝・火）留萌本線の開業111周年を記念して、JR石狩沼田駅と恵比島駅で記念イベントが開催されました。

石狩沼田駅では、恵比島駅までの無料往復分切符やトマトジュースを111名分プレゼントしたほか、キッチンカーが並び、様々な食べ物が販売されていました。

恵比島駅では、明日萌駅硬券入場券や開業111周年記念の駅弁、お土産などが限定で販売されたほか、臨時の駅長に扮したスタッフが登場し、列車到着などの場内アナウンスや、横断幕で列車をお迎えするなどして雰囲気盛り上げ、この日道内外から訪れた多くの鉄道ファンを楽しませてくれました。

埼玉県から来たという40代の男性は「久しぶりに恵比島駅に来ました。駅周辺がNHKすずらんで盛り上がった頃からみると随分寂しくなりましたが、駅舎がしっかり保存されていて良かったです。仲間にも教えてあげたい。」と話していました。



11/27 おおきな声で歌えました！ 沼田認定こども園発表会

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響のため無観客の中開催されましたが、今年は人数制限を行い、感染症対策を徹底した中で、第6回沼田認定こども園発表会が開催されました。



▲第1部さくら組（3歳）－元気な和太鼓演奏やリズムカルなダンスで魅了し、大きな声で合唱しました。



▲第2部もも組（0～1歳）－リズムに合わせて小さな手をいっぱいに広げ、手遊び歌を披露しました。



▲第3部うめ組（2歳）－太鼓に合わせて鈴やマラカス、タンバリンで合奏し、歌や踊りも頑張りました。



▲第4部すみれ組（4歳）－和太鼓で「千本桜」を迫力満点で演奏しました。男女ペアのかわいいダンスで観客を虜にしました。



▲第5部たんぽぽ組（5歳）－発表会のラストを飾るのにふさわしいキラのある動きでダンスや運動発表を披露しました。また劇の「おおきなかぶ」ではしっかりと役になりきり、観客の笑いを誘っていました。太鼓の演奏も見事で練習の成果を十分に発揮していました。



11/30 入学式が待ち遠しいです 就学前児童小学校体験登校

来年4月に入学予定の認定こども園の年長さんたちと小学校1年生たちが、交流する「わいわいランド」が小学校で開催されました。

年長さんたちが会場に集まると、1年生から「皆さんのために一生懸命準備してきました。今日は楽しんでってください。」と大きな声で挨拶があり、学習発表会で披露した器楽演奏や踊り、ゲームを楽しみ歓迎しました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、終わりに1年生の代表から年長さんたちに、夏に育てた朝顔の種とメッセージカードが渡され、「みなさんが来年の春に来ることを楽しみにしています。」と終わりの挨拶をしていました。



11/30 来年こそ優勝に期待!! 北海道日本ハムファイターズ応援大使 オンライン交流会

生涯学習総合センター「ゆめっくる」で、北海道日本ハムファイターズの本年度の応援大使である、加藤貴之投手と上原健太投手とのオンライン交流会が、ファイターズファンや中学校の野球部員など、総勢82名の参加で開催されました。

最初に2021シーズンの総集編動画放映やグッズ抽選会が行われ、会場の雰囲気盛り上がったところでオンライン交流会となりました。

スクリーンに映し出された二人の応援大使から今シーズンの様子が報告された後、質問コーナーとなり、会場の参加者から「試合で投げている時は何を考えていますか？」との質問に加藤投手は「早く終わって休みたいと思っています。」と答え、思わず場内に笑いが広がっていました。



12/2 募金をいただきました ライオンズクラブ歳末募金

沼田ライオンズクラブ（富田茂将会長）が、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金を町にお持ちいただきました。

富田会長は「社会のために役立てて下さい。」と募金を町長に手渡し、そのまま沼田町共同募金委員会（松田剛会長）に引き継がれました。

この募金は、地域福祉を財政面で支援することに役立てられます。



12/3 J A北いぶき女性部沼田支部から ペーパータオル等の寄贈を受けました

J A北いぶき女性部沼田支部（加藤早苗支部長）から、コロナ禍で困っている町内の子ども達へ、ペーパータオルや生理用品などの寄贈を受けました。

加藤支部長と鷺尾知美副支部長のお二人が町長室を訪れ、小学校にペーパータオル200枚入りを90パック、中学校に使い捨て衛生手袋100枚入3箱、生理用品9袋（26個入）を頂きました。

横山町長は「子供たちのために、たくさんの品々を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます」と述べ感謝状を贈呈致しました。



12/3 印象的な作品でした よしながこうたく絵本原画展

12月3日（金）から12日（日）まで、よしながこうたく絵本原画展が開かれました。

よしながこうたく氏の作品は、印象に残る独特のタッチで描かれ、中でも「給食番長シリーズ」は、子ども達に大変人気の絵本です。

この日、この原画展を見ていた絵手紙サークルの方々は「この絵、一度見たら忘れられないほど迫力あるね」など、絵手紙の参考にもしたいと熱心に眺めていました。



12/3 カネカとの連携事業 健康ブランド事業健康測定会

12月3日（金）と4日（土）の2日間、暮らしの安心センターで健康ブランド事業健康測定会が開かれ、計112名の方々が参加されました。

これは、町と総合化学メーカーの株式会社カネカとの連携事業で、町民の方々に健康モニターになってもらい、カネカのコエンザイムQ10の服用と温泉サウナ入浴、又はトマトジュースの飲用などを組み合わせたグループに分かれ、4か月間の効果を調べるものです。

モニターの方々は順次、各ブースに分かれスタッフの指示に従い、健康状態を測定しました。



12/6

献血活動に貢献

6 沼田弾薬支処献血功労表彰

陸上自衛隊北海道補給処沼田弾薬支処（佐々木隆師支処長）が、北海道赤十字血液センターより、献血功労表彰を受賞されました。

沼田弾薬支処は、長年にわたり献血会場として献血運動に協力され、多数の自衛隊員並びに関係者から献血頂いたことに対し、感謝状と有功章が贈られたものです。

この日、横山町長が感謝状を支処長に伝達し「今はコロナ禍で、なかなか献血が集まらない状況ですが、今後ご理解を頂きご協力をお願いします。」と述べました。



12/7

課題の雇用と移住対策を進めます

7 北海道労働局との雇用対策協定

健康福祉総合センター「ふれあい」で、沼田町と北海道労働局との雇用対策協定が締結されました。

これは沼田町と北海道労働局が緊密に連携し、雇用の課題に対して効果的な取り組みを行うもので、協定の締結は道内では沼田町が札幌市に次いで2番目となります。

今回の締結にあたり横山町長は「今後さらに幅広い見地で、北海道労働局と連携し、雇用対策を進めて参りたい。」と述べました。

また、北海道労働局上田国土局長からは「雇用対策は、地域と一体となって進めることが重要。高齢者の生きがいづくりや若者のUターンの受け皿対策など、国だけではやれないことを自治体と一緒に団結してやっていきたい。」と話されました。



北海道社会貢献賞表彰



町議会議員を長年務められ、地域住民の福祉の向上に尽力されている、大沼恒雄町議会議員が北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞されました。

12月8日（水）札幌市内のホテルで執り行われた授賞式で、鈴木直道知事から「それぞれの立場で活躍され、郷土の発展と地方自治の振興に多大な貢献をいただきました。皆さまに感謝の意を表します」と受賞者へ挨拶があり、その後、大沼議員に鈴木北海道知事から表彰状が手渡されました。